

# 男子ホッケーU21日本代表チーム

## Uttar Pradesh Hockey Junior World Cup Men Lucknow 2016 (IND)

日付	2016年12月16日 13:30～	天候	晴れ
場所	インド・ラクナウ	通算結果	日本 勝
試合	第5戦(13位決定戦)		

### RESULT

Country	2	(	0	-	0	)	1	Country
日本			2		1			韓国
JAPAN								KOREA

※13位決定

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	中上裕規 (GK)			
✓	3	亀山紅葉			
S	4	谷光未有			
7	5	近藤辰徳			
✓	6	畑野修平			
✓	7	千葉健寛			
7	8	稲山巧			
✓	10	新井稜			
✓	11	亀崎信一			
✓	12	田中海渡			
✓	13	池田瑞			
10	15	林聡馬			
✓	16	小沢諒 (C)			
✓	17	山崎晃嗣			
7	18	杉山惇士			
✓	21	千田拓美 (GK)			
3	22	福田健太郎			
✓	23	渡辺晃大			
Coach		長屋 恭一			
Manager		三澤 孝康			
UMPIRE		JOSHI Deepak (IND)			

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	KANG Youngbin (GK)			
7	2	LEE Gangsan			
✓	3	PARK Joochan			
✓	5	KIM Hyeonhong ©			
31	6	YOON Hyosang		50	
✓	7	SEO Woohyeong			
7	9	HWANG Man-Gi			
7	10	KIM Geun-Yub			
13	11	SIM Jaewon			
✓	12	KIM Kyubeom			
✓	14	YANG Hyeonjun	21		
✓	15	CHOI Jinyoung			
✓	17	LEE Hyunil			
✓	18	OH Seyong			
	21	KIM Jaehan (GK)			
12	22	KIM Homin			
✓	25	JUNG Kyungseop			
✓	26	HONG Yongmin			
Coach		JANG Jung Min			
Manager		YOO Moon Ki			
UMPIRE		NEWMAN Zeke (AUS)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	55	渡辺晃大	FG	1-0
KOR	65	OH Seyong	FG	1-1
JPN	70+	山崎晃嗣	PC	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score

Uttar Pradesh Hockey Junior World Cup Men Lucknow 2016 13位決定戦 相手は、アジアカップ(アジア予選)は敗戦している韓国である。

韓国のセンターパスにより試合が開始される。日本は、75ヤードから積極的にプレッシャーをかける。一方韓国は、ハーフプレスでカウンター狙うスタイルで立ち上がりから両者攻防を繰り返す。前半6分日本は、#16小沢が中央からドリブル突破し、PCを獲得する。このPCは、#7千葉がフリックシュートを放つがGKにクリアされるが再度PCを獲得する。このPCは、#23渡辺がリバースシュートを放つがアップボールで反則に終わる。続く16分、左サイド突破からのセンターリングを#15林がリバースヒットを放つが、惜しくもゴールパーに当たり、得点することができない。韓国は、18分右サイドからドリブル突破して、チャンスを作るが、枠をとらえることができない。この後も日本ペースで試合が進むが両チーム得点できず、前半0-0で終了。

後半開始、37分日本は、#12田中が右サイドをえぐり、相手のインターフェアを誘いPCを獲得する。このPCは、レシーブミスし、持ち込むがDFにクリアされカウンター攻撃をされピンチを招くも、DFが冷静にクリアし難を逃れる。41分日本は、ターンオーバーから左サイドから右サイドへの素早い展開から、チャンスを作り、#5近藤がGK1対1になるもGKにぶつけビッグチャンス逃す。その後は、一進一退の展開が続く。55分日本は、#12田中が右からセンターリングしたボールを#5近藤がはじき、最後は#23渡辺が押し込み先取点をあげる。追いつきたい韓国は、63分DFのトラップミスによりPCを獲得する。このPCは、1番手に当たり、DFがクリアする。その直後から、韓国の怒濤の反撃にあい、65分韓国は、右からのセンターリングをDFがトラップミスし、#18OH Seyongが押し込み同点となる。その後も両者激しい攻防を繰り返す。このまま試合終了と思われた時、#13池田が中央からドリブル突破しPCを獲得する。このPCはエキストラPCとなり、#7千葉のフリックシュートを#17山崎が鮮やかにリバースでタッチシュートを決め2-1で試合終了し日本チームが13位を勝ち取る。

課題は、たくさんあるが、この1勝は、選手にとっても価値ある1勝となった。同点に追いつかれても最後まで攻めの姿勢を忘れずに戦い抜いた選手に賞賛の拍手を送りたい。今大会の経験を生かし、必ずや、東京2020の選手として活躍してくれること期待したい。

日本	11	シュート数	6	韓国
	4	PC数	1	

校閲: 男子U21ヘッドコーチ 長屋 恭一  
記責: 男子U21チームリーダー 穴田 直樹